



多可町子育てふれあいセンター

2019年

にこにこ通信



就学前乳幼児（0～5歳児）のおられる家庭の子育て支援を行っています。
ふれあいの場、出会いの場、学びの場として、たくさんの方に利用していただきたい
と思っています。ぜひ、みなさん気軽に、遊びに来てくださいね。

旧中町幼稚園に移転しました

*八千代の施設は
閉鎖しました。

開設日：月～金曜日・日曜日

開設時間：午前9時～午後4時

■お問い合わせ先

中区岸上224-17

☎ 32-2816 Fax 32-2817

気軽に遊びに
来てくださいね。



室内あそび



ゆったりとお子さんと
遊ぶことができます。

えほんのへや



ゆっくり絵本を読んだり
借りたりできます。

外あそび



遊具や広い運動場で思いきり遊ぶことができます。



子育ての不安や悩みなど、気軽に相談
くださいね。遊びの時でもOKです。
…面談希望の方は、申し込みを…



家庭相談員にも相談できます

子どもの成長や発達に関すること、家庭をはじめ子どもを
取りまく生活環境に対する悩みなど、子どもに関するあら
ゆる相談があれば、お気軽にご連絡くださいね。

こども未来課 教育委員会 電話 32-2385

☆多可町子育てふれあいセンター <Email>kosodate@town.taka.lg.jp

〒679-1114 多可町中区岸上 224-17 TEL:(0795)32-2816 / FAX:(0795)32-2817

4月の予定

★天候等により、活動場所・内容が変更になる場合があります。変更内容については、ホームページで、確認することができます。<http://takacho.tokyo.r-cms.jp/kosodate/>

【自由利用について】 毎週月～金曜・日曜 午前9時～午後4時

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3 ★いきいき広場 金比羅神社	4	5	6
7	8	9 ・おやこ活動 (H28) 余暇村公園	10	11 ・おやこ活動 (H30) 余暇村公園	12 ・おとはな C 子育てふれあいセンター	13
14	15 ・ほかほか C 子育てふれあいセンター	16 ・おやこ活動 (H28) なか・やちよの森	17 ・おやこ活動 (H29) 余暇村公園	18 ・おやこ活動 (H30) 子育てふれあいセンター	19 ★オープニングセレモニー 「みんなであそぼう」 子育てふれあいセンター	20
21	22 ★赤ちゃん広場 子育てふれあいセンター	23 ★親子あそび フロイデン (八千代)	24 ・おやこ活動 (H29) なか・やちよの森	25 ・おやこ活動 (H30) なか・やちよの森	26 ★学習会 子育てふれあいセンター	27
28	29 昭和の日	30 退位の日				

★「年度別おやこ活動」「自主サークル活動」「にこにこ教室」の内容については、在宅家庭配布の『ほかほかたより』をご覧ください。



移転オープニングセレモニー

みんなであそぼう！

と き：4月19日（金）10:00～11:30

ところ：子育てふれあいセンター

申込み不要

～オープニング～
自主サークル「おとはな」
人形劇「さるかに合戦」

プランター野菜作り体験

竹スタードームまわりに
夏野菜を植えよう！



夏にはドームのまわりに野菜がいっぱいに！！

ふれあいあそび

～三二曜日～

地域の方もご招待します。

交流しながらいっしょに楽しみましょう！！



☆いきいき広場・・・申込不要

「公園で遊ぼう！」

と き： 4月3日(水) 10:00～11:30

ところ： 金比羅神社(中区鍛冶屋)

*職員が見守る中、お子さんと自由に遊びましょう。
桜を眺めたり、鯉が泳いでいるのを見たり、滑り台などの遊具で遊んだりして、お子さんとの時間を楽しみながら過ごしてくださいね。

【雨天時】 アスパルであそびます。



☆親子あそび・・・誰でも参加できます。申込不要

と き： 4月23日(火) 10:00～11:30

ところ： フロイデン(八千代区俵田)

内 容： 「こいのぼりを見に行こう」

*レンゲの咲く田んぼの上を壮大に泳ぐ
こいのぼりを見に行きましょう。

持ち物： お茶

【雨天時】 アスパルであそびます。



赤ちゃん広場

と き： 4月22日(月)

ところ： 子育てふれあいセンター(旧中町幼稚園)

10:00～10:30 身体測定

10:30～11:00 スキンシップあそび

情報交換

11:00～ フリートーク

*誰でも参加できます。気軽にお越しくださいね。

☆学習会・・・申込必要

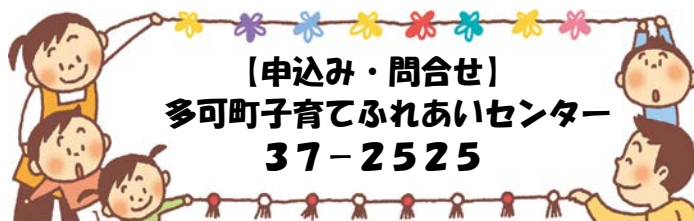
と き： 4月26日(金) 10:00～11:30

ところ： 子育てふれあいセンター(旧中町幼稚園)

内 容： 音楽あそび

講 師： 東寛子さん(音楽療法士・医療保育専門士)

*いっしょに歌をうたったり、体を動かしたりして、楽しみましょう。



4月に読みたい絵本

春、新しい生活がはじまり、不安でいっぱいの子どもたちへ、「大丈夫、自分を信じて！」のメッセージを贈る絵本です。



「わたしと なかよし」

作・絵： ナンシー・カールソン

訳： なかがわ ちひろ

出版社： 瑞雲舎

こぶたの女の子には、すてきなお友だちがいつもいっしょ。それは、「わたし」！

大好きな「わたし」のために、おもしろい本をたくさん読んであげます。それから、「わたし」を大事にしたいから、歯もきちんと磨きます。失敗したって大丈夫。落ち着いて、もう一度トライすれば、きょううまくいく。だって、「わたし」のことを信じているから。

はじめての場所、はじめてのひと・・・・春は「はじめて」がたくさん。不安や緊張は、大人にもあります。でも大丈夫。世界中どこへ行っても、「自分」だけはいつもいっしょ。だから、そんな自分と、いつも仲良くしてね。疲れたら、自分をちゃんと休ませてあげてね。

脳育では足育から

脳の発達とからだの育ちは密接に関係しています。脳機能といえば「思考する脳」が重要視されがちですが、乳幼児期はその土台となる「感じる脳」や生命維持の「生きるための脳」など、いわゆる「動物脳」がもっとも育つ時期です。これは「いのちの本質」に近く、からだの感覚やこころを動かされることで育てられていきます。

脳が育つためには、多様なからだの動きが必要です

足の裏には、地面の状態やからだの傾きを把握して、情報を脳に伝達するセンサーがあります。このセンサーが、多種多様な動き（寝返り、ずりばい、ハイハイ、歩行、そして走ったり、跳んだり、ぶら下がったり、登ったりなど）の情報を取り入れて、脳を発達させます。

多様な動きをするために、土台となるのが足の力です

さまざまな動きをするために欠かせないのが、足の力です。立てるようになると、足裏の狭い面積だけでからだを支えることになります。足の力がないと、思った通りにからだを動かすことができません。また、安定してまっすぐ立てる、歩けるという基本機能は、その後身につけるさまざまな動きの基礎となります。

また、安定して立てることは安心につながります。その安心が土台となり、新しいものを知りたい、見たい、感じたいといった外界への知的好奇心が育ちます。

生活とあそびのなかで 足の力を育てる方法

足育の基本 とにかく歩く、走る

現代人は、圧倒的に歩行量が足りていません。歩くこと、走ることは、すべての動きの基本です。まずはちょっとした距離でいいので、歩くことからはじめてみるのが大切です。

安定感を育む 不安定なところでバランスを感じる

不安定な場所で動こうとすると、内耳や足の裏のセンサーがしっかりと育ちます。

足腰に負荷をかけて 斜面を登る

手をつかないと登れないくらいの急斜面では、ハイハイのような動きになります。足指で踏ん張る力や、脚とからだ全体との連動を育てます。

からだを動かすことを楽しむ 階段の昇り降り

エレベーターなどを使いたい場面でも、あえて階段を使うことで足の力がつきます。

「月刊クーヨン 2019.4」より

著：えのもとあきこ「足と姿勢の相談室」代表

